

デザイン

修士 [美術研究科]

Design

Master

大坪 彩月

大西 真央

黄 翊

田中 杏佳

董 縁媛

楊 嘯天

リ コウ



NEGATIVE demo

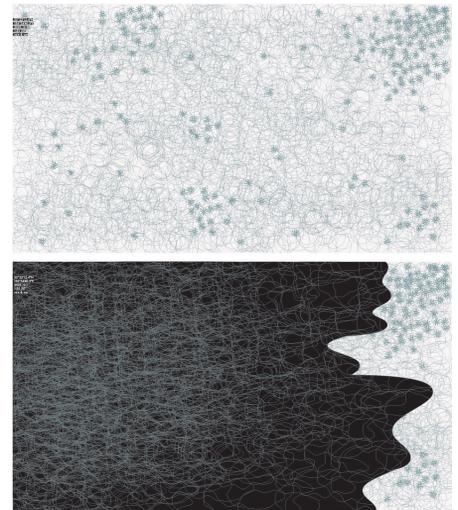
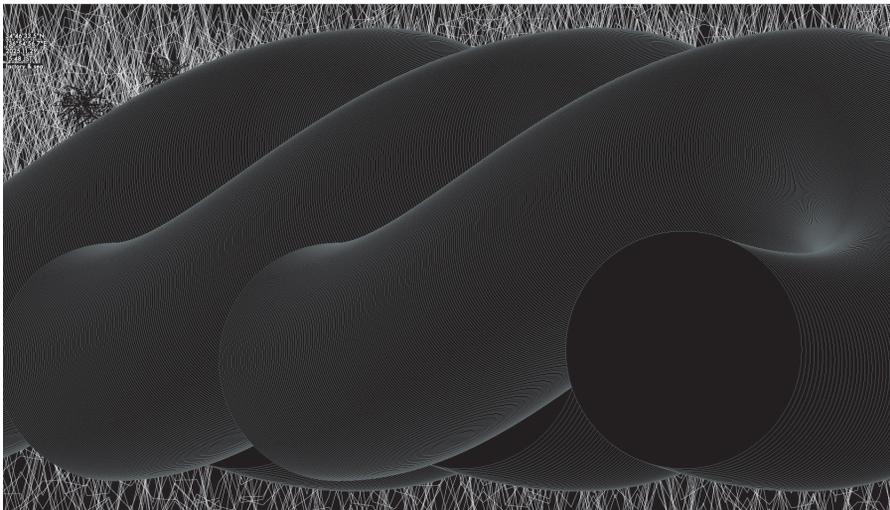
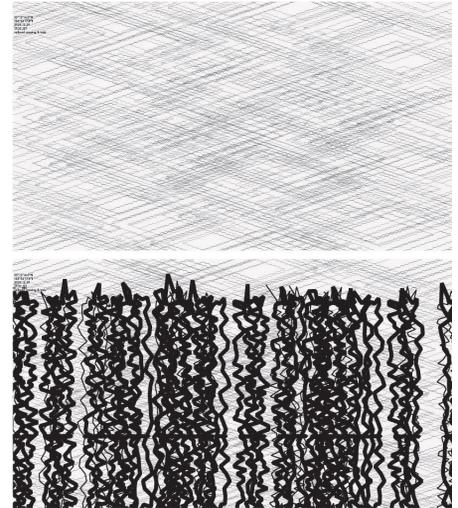
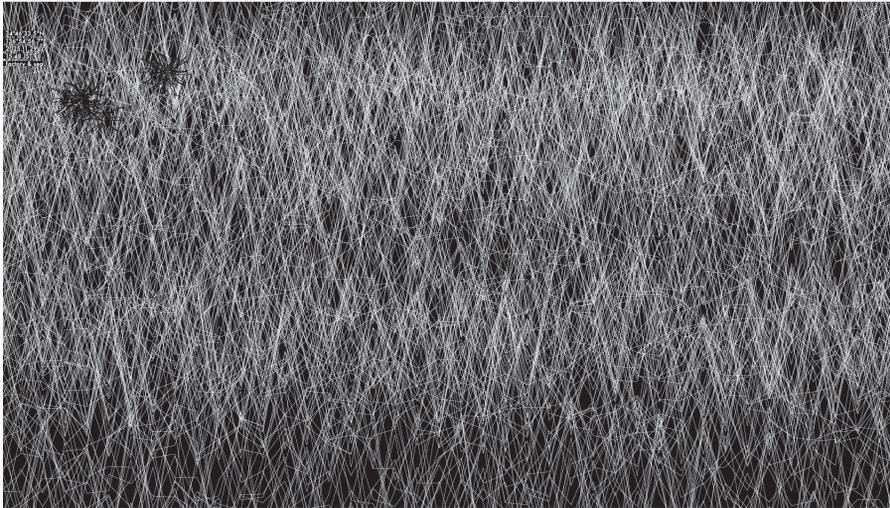
大坪 彩月
OTSUBO Satsuki

NEGATIVE demo

ミクストメディア

H2000 × W3000 × D3500 mm

多くの人が、ネガティブな感情と共に生きなくてはならない。人との関わり、ささいな失敗、後ろめたい自分。言葉で伝えるのはむずかしく、わざわざ言うのは気が引ける。そんな日々のネガティブを、「ダメなこと」ではなく、あえて「正しいもの」として考え、なんとかそのまま生きられるアイデアを、可視化してみる。



大西 真央

ONISHI Mao

masking

Mr.A-F

H576 × W1024 mm

私たちの身の回りには多くの音が存在し、それらは常に関わり合いながら知覚されている。日常生活で生じる、音が音を覆い隠す「マスキング現象」に着目し、その構造をビジュアル化した。複数の音が同時に存在する環境における知覚の変化に注目し、聴覚情報を視覚情報へ拡張することを試みた。



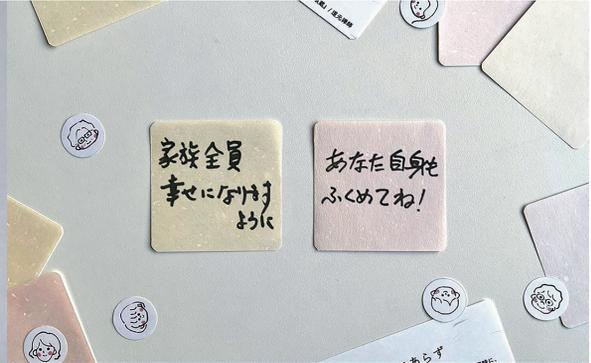
黄翊
HUANG YI

RINKA

再生紙、廃棄繊維

H400 × W300 × D300 mm × 13 個

一時的な均衡として
存在する形態。
脆弱な素材と
構造的な緊張が、
静かに拮抗している。



田中 杏佳
TANAKA Kyoka

コミュニケーションデザインによる
寺院の再出発

和紙

人が来なくなってしまった寺院の存在意義を取り戻し、自然と人が集まるような場所にするための持続可能なコミュニケーションデザインの提案。

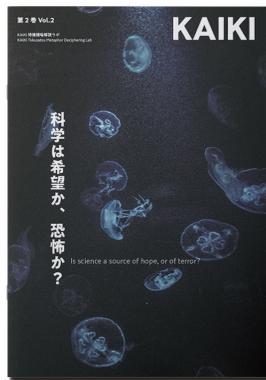


董 綠媛
DONG Yuanyuan

のの屋 — ひとりになりたい時の空間

角材、波板、毛糸

H1700 × W1572 × D1964 mm



楊嘯天
YO Shoten

Zine : 『KAIKI・皆既』

ミクストメディア

H297 × W210 mm × 8点

特撮作品に隠された社会的・哲学的メタファーを現代の文脈で再解釈し、タイポグラフィを中心としたデザイン表現によって再構築するプロジェクト。激動の現代社会におけるさまざまな社会問題を可視化し、個人自主編集誌 ZINE や共感空間を通じて、空想と現実を接続しながら、未来へ向けた新たな対話の形を提示する。



リコウ
Li Hao

De - サイン

ミクストメディア

H2000 × W4000 × D600 mm

現代のピクトグラムは、抽象化の代償として「行為」や「感情」を削ぎ落としてきた。その結果生じた認識のズレの可能性に対し、「古代漢字」が持つ原初的な眼差し、表現や文脈に応じて有機的に形を変える「一字異形」の知恵で応答する。ピクトグラムに文字が持っていた「身体性」を取り戻し、見える行為と見えない行為を可視化し、直感的な共通理解を築くため、深い理解を促すピクトグラムの可能性を提示する。